

# 山口新聞

平成 25 年 3 月 15 日 (金)

NO. 47

農地・水・環境

## 守ろう地域の手で



47

思いで、2007年に農業者、自治会が中心になり当会を立上げた。小さな組織なので連絡の徹底が早く、行事への参加率が高いのも当会の身上である。

まわりなどによる景観形成を図るとともに、いつでも農地に復元できるよう管理している。今年度からは水路の補修や農用地の保全管理を重点的に計画している。

全国住みよきランキング13位の下松市、その北東部で周南市(旧熊毛町)と境を接する山間に切山地区は位置する。ほとんどの農家が兼業農家、1戸あたりの耕作面積も少なく、高齢化や後継者不足もあって、近年、耕作放棄地や遊休農地が増えた。このような状況を何とかしたいとの思いで、2007年に農業者、自治会が中心になり当会を立上げた。小さな組織なので連絡の徹底が早く、行事への参加率が高いのも当会の身上である。

主な取り組みは、広範囲の猪用防護柵の設置や、遊休農地発生防止のために草花(コスモス、菜の花、ひまわりなど)による景観形成を図るとともに、いつでも農地に復元できるよう管理している。今年度からは水路の補修や農用地の保全管理を重点的に計画している。

当会でも集落営農や法人化が真剣に討議されたが、ほ場規模が小さく採算性の問題から設立には至っていない。

## 遊休農地を活用し「花と緑の里」づくり

昨年からの地区で新

規に農業を始めた若いご夫婦が、農薬を使わない栽培に取り組み、耕作放棄地を見事よみがえらせた。このような若者への積極的な支援や、当地区の将来構想についてまだまだ話し合いを続けていきたい。

(代表、清水和夫)

— 金曜日掲載 —



① 会員の皆さん  
② 猪用防護柵の点検作業

【又毛】代表 清水和夫  
△会員 27人、農家、自治会  
▽設立 2007年4月  
▽連絡先 下松市切山928、清水和夫  
TEL 08333・46・1296